

中野市学校給食センター運営委員会（第1回）会議録

名称 中野市学校給食運営委員会
日時 平成20年8月29日（金）午後6時～午後7時45分
場所 中野市南部学校給食センター 会議室
出席者
（委員） 藤森義一委員、渡辺秀行委員、山崎衛一委員、金子高幸委員、藤澤佳繁委員、
春原紀子委員、出川美雪委員、増田正明委員 8名
（市側） 小林次郎教育次長、久保広二所長、中島宣子主任主事
臼井純人主幹、清水信子栄養教諭、阿部京子栄養士、丸山敏枝栄養士
小林晴江栄養士 8名
欠席委員 真篠篤委員 1名
会議資料 会議次第、学校給食センター概要、平成19年度決算、平成20年度予算、
給食費について、委員名簿他

決定事項

- ・会長に増田正明委員、会長の職務代理者に藤澤佳繁委員（前任者の残任期間）

会議内容

- （1）学校給食センターの運営状況について
 - ・所長より資料に基づき、説明する。
特に質疑なく全員了承
- （2）学校給食費について
 - ・所長より資料に基づき、説明する。

質疑

（委員）地元農産物の使用について、農家では共撰所に出荷したもの以外の規格外の果物を給食に使用することはできないか。使用状況はどうか。米粉パンの状況についてはどうですか。

（所長）給食の食材使用については、できる限り地元農産物を優先し、地元にはないものは県内産、国産という順に使用している。市内には、「生きがい農業者の会」、「ふるさとファーム」の生産者の会があり、低農薬で有機栽培で育てられた新鮮で安心できる野菜等を提供いただいている。規格外の野菜等でも納入基準を定めて購入している。また、JA中野市が事務局になって指導していることから安定供給ができる。

地元農産物使用状況は、平成19年度31品目取扱量で84,342kg 60.08%、金額で23,695,087円 62.87%です。

米粉パンについては、米の消費拡大の観点から中野市産のコシヒカリを使用し、JA中野市女性部で製造していただき年2回実施しています。子ども達にもやわらかくておいしいと好評です。ただ、1日に150個しか作ることができないことと単価が小麦粉パンに比べると2倍以上します。

（委員）給食は栄養価させ満たせば良いということだけでなく、美味しい給食を提供する必

要がある。

(所長) 保護者や市民からは、献立の工夫をして努力していただいていることは理解するが、成長期の子どもたちには栄養価を充足すれば良いというのではなく、安全で安心な美味しい給食を望むということを聞いています。

(教育次長) 給食費について、県内市町村と比較した場合に小学校低学年の給食費 220 円は、県下でも低い方である。

(委員) 給食費の滞納者はいるのか。

(所長) 平成 19 年度 17 人 451,524 円でした。中野市の場合は全国的に言われているような保護者の責任感の無さや規範意識の低さによるものよりも、経済的理由による滞納ケースが多い。学校と連携して文書や電話による督促などし、遅れ遅れであるが納付していただき、在学中の完納に努めています。

(委員) 献立等の工夫で現行給食費をできる限り維持していただき、食材価格が今後高騰するようであれば値上げもやむを得ない考える。

(所長) 県の調査(新聞の切り抜き資料)によれば、県内市町村でも値上げしたところ、来年値上げするところ、値上げについて検討しているところとそれぞれの市町村において食材価格の高騰に苦慮している状況です。

(委員) 給食残さはどうですか。

(所長) 新しいセンターになってから生野菜のサラダ等が出せるようになったことと食缶の保温性が良くなり旧センターと比較すると少なくなり、献立の内容にもよるがデスポーザで脱水処理した状態で 1 日 5 k g から 10 k g 程度です。

(委員) 食物アレルギー対応食の対応はどうですか。

(栄養士・所長) 中野市食物アレルギー対応食提供事業実施要領に基づき、除去食または代替食を提供しています。本年度対応食実施者は 13 人です。

(会長) 給食費の改定について今後の進め方はどうなのですか。

(所長) 今後の物価の動向を注視し、11 月下旬に改定額を試算して再度運営委員会へ説明し意見を聞きたい。その後、運営委員会の意見をもとに教育委員会へ諮っていく考えです。

(4) その他

(委員) 北信食品衛生協会からのお願いです。会員の中でも保菌検査をしないで食品を取扱っていると聞いた。納入業者へも衛生管理の指導をお願いしたい。

(所長) 衛生管理については、北信保健所の指導の下に栄養士から職員、業者へ指導をしています。今後も引き続き指導を徹底したい。

食育の推進について

・所長から現在、健康長寿課において中野市食育推進計画を策定している状況を説明した。

・栄養教諭からは資料により学校給食における食育の取組みについて説明した。

特に質疑なく全員了承

午後 7 時 45 分終了